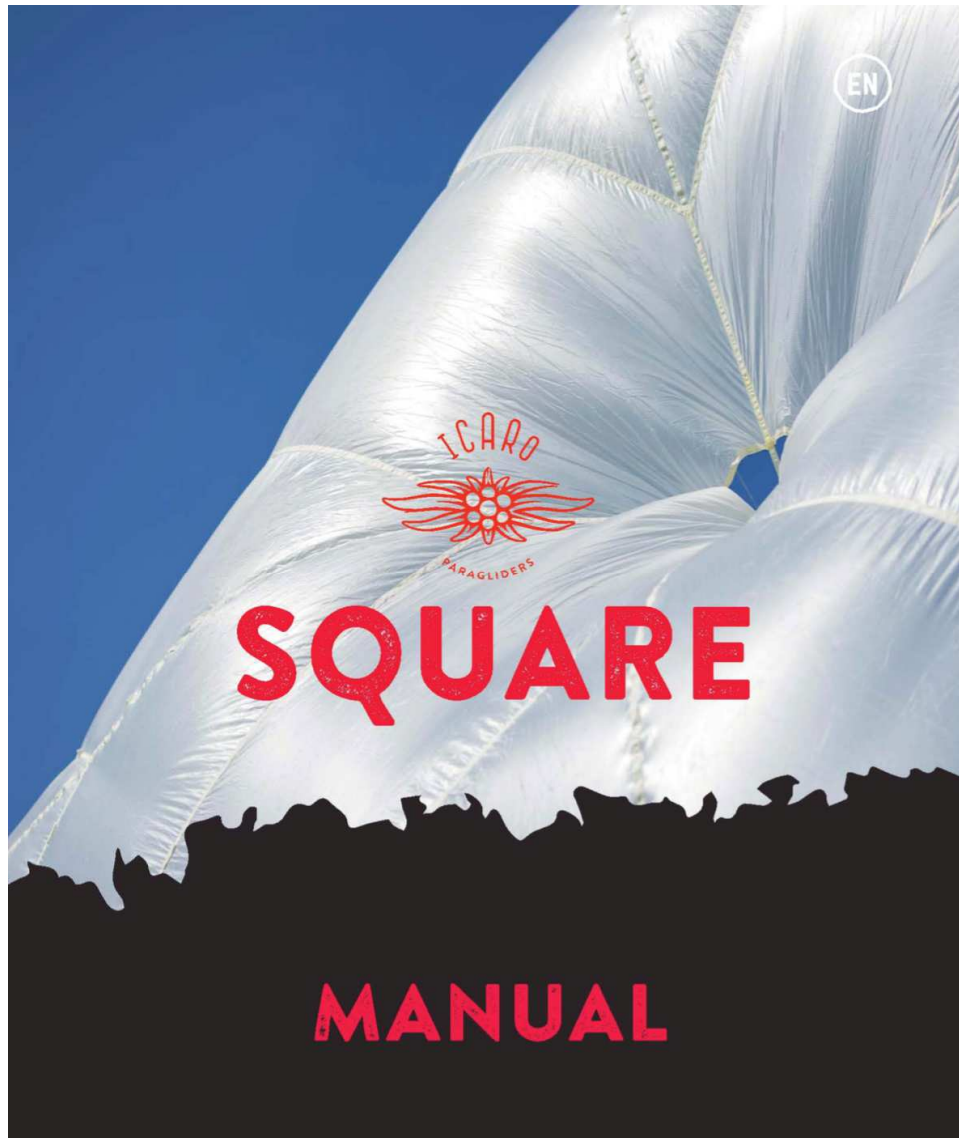


# ICARO

## スクエア レスキューパラシュート 取扱説明書



本品の納品日時： \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 シリアル番号\_\_\_\_\_



*flight since 1977*

**Sports Opa Kite**

(株)スポーツオーパカイト

東京：  
1900

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24-15

TEL: 03-3291-0802

<http://www.opa.co.jp/>

メンテナンス部： 〒315-0101 茨城県石岡市大増

〒315-0101 茨城県石岡市大増 1900

TEL: 0299-44-3642 FAX: 0299-44-3939

email: [itajiki@opa.co.jp](mailto:itajiki@opa.co.jp)

## 注意

- \* この商品の御使用は、しかるべきパラグライダーの技能と知識を持ち、このスポーツのリスクを自己責任において受け入れる事のできる方に限定されます。
- \* 緊急パラシュートとハーネスあるいは外部取付けコンテナとの初めての組み合わせの場合は、必ず公認のハーネスあるいは緊急パラシュートのディーラー、あるいはパラグライダーインストラクターによってチェックしてもらってください。通常の飛行姿勢からの緊急パラシュートの開傘操作では、何らの支障無くスムーズに行なえなければなりません。
- \* 緊急パラシュートを廃棄する場合、使用されている素材には、正しい廃棄方法が求められています。一般ゴミとして廃棄せず、地域の規則に沿った廃棄を行ってください。
- \* スカイスports活動において環境に配慮しましょう。勝手に許可されていない場所に立ち入ったり、ゴミで自然を汚したり、騒音を出したりしないよう、注意しましょう。
- \* この取扱説明書に記載の内容には万全の正確を期していますが、記載内容はあくまで参考である事を御理解ください。
- \* この商品に関する重要な変更情報は以下のホームページに掲載されます。  
ICARO paragliders [www.icaro-paragliders.com](http://www.icaro-paragliders.com)  
ICARO paragliders 日本代理店：株式会社スポーツオーパカイト <http://www.opa.co.jp/>

## 諸元表

	SQUARE
面積 (㎡)	38
セル数	20
重量 (コンテナ含む/kg)	1.5
パッキング容量 (cm <sup>3</sup> )	4260
最大許容重量 (kg)	120
ミドルライン数	2
最大荷重時沈下率 (m/sec)	6.5

## パッキング手順

緊急パラシュートのパッキングを始める際に、もしも緊急パラシュートの素材が湿り気を帯びていた場合は、風通しの良い日陰で宙づりにして広げ、十分に乾燥させてください。また、草などがキャンピーに付着していた場合も宙づりにしてよく払い落としてください。

1. ホコリ、汚れ、突起、虫などのおそれの無い清潔な広い平面（床、広いテーブル）と、パラシュートの端を固定できる環境と、たたんだキャンピーを押さえておけるサンドサックの重し（雑誌などで代用可）を用意して下さい。
2. パッキングを容易にする補助として古いパラグライダーのラインなどの細紐を用意し、キャンピーのアペックス固定ループを通していき、束ねたら細紐の端を固定します。ラインが絡まずに伸びているようにしてください。



3. 1番ラインと20番ラインを取り出して伸ばし、メインストラップと平行になるようにします。プルダウンミドルラインをはさんでその他のラインが左右くるようにします。ラインが絡んでいないかよく注意して下さい。
4. スカート近くでラインをひとまとめに束ねて持ち上げ、本のページをめくるように1枚ずつパネルを左から右へめくっていきます。このとき開口部のトップを外側へ引っ張ってやります。1番パネルから始めて最後に20番パネルまで作業します。



5. ここで1番パネルの開口部が見えているので、これを三角形になるようにたたみます。次のパネルを左に送っていき、16番パネルの開口部が見えたら1番パネルと同様にたたみます。同様にして11番パネルまで作業します。



6. 次に全てのパネルを右側から左側へ送り、最初の5パネルを右に置いていった状態で6番パネルの開口部が見えます。この開口部を三角形になるようにたたみます。

7. さらに右側で10番パネルまでたたみ、11番パネルの開口部が見えたら、最後の4つ目の三角形を折ります。左右でパネル数が10ずつになって広がっていることを確認してください。プルダウンミドルラインをはさんでその他のラインが左右に分かれていることを確認してください。また、全てのラインが絡んだりねじれたりしていないことも確認してください。



**キャノピー折り返し上端の固定ループから細紐をはずします。これを忘れると開傘しません！**

8. パネルの左1/3を上へ折り返し、右1/3を下へ折り返します。キャノピーのトップ側も同様に行ってください。重しを乗せておきます。飛び出ている三角部分をたたみ、次にコンテナへ収納するサイズに注意してください。



9. インナーコンテナ（デプロイメントバッグ）の内側におさまる大きさに、キャノピーをS字たたみします。



**キャノピー折り返し上端の固定ループから細紐をはずしていることを再度確認してください！**

10. キャノピーをインナーコンテナの中へ入れます。下図の通りに、インナーコンテナの3枚のパネルを白いゴムバンドで閉じ、緊急パラシュートのサスペンションラインをこのゴムバン



ドの中へ少し通して留めとします。



続くラインを8の字に折り返していきます。8の字の端を輪ゴムで止める際は、劣化粘着の無い専用ゴムの新品を使用して下さい。

- 1 1. インナーコンテナの仕上げの留めとするのでラインの最後の50 cmは残しておいて、8の字に束ねたラインを図の通りにポケットに入れます。



- 1 2. 下図の通りに、残しておいたラインを黒いゴムバンドの中へ少し通して、インナーコンテナの仕上げの留めとします。これでパッキングの完了です。



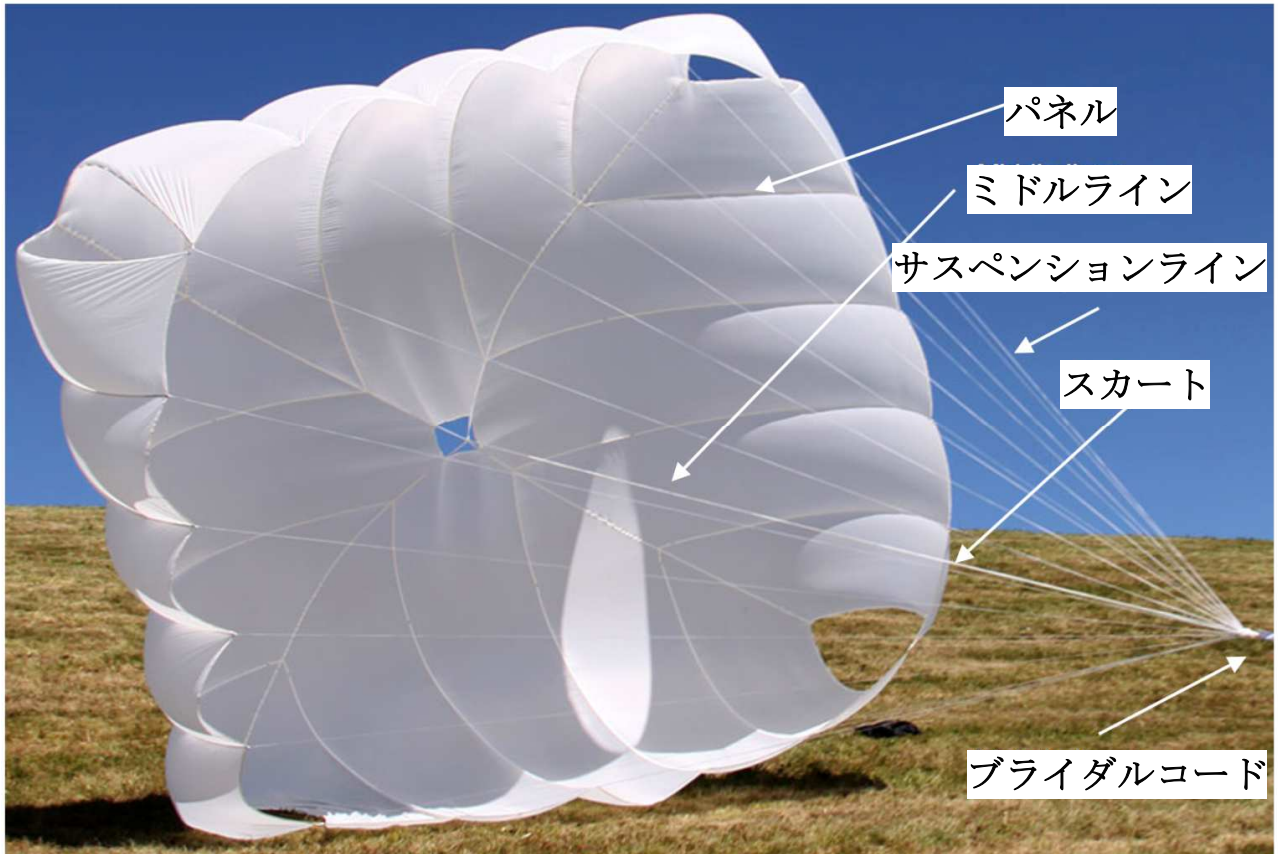
リパック管理票（パラシュートログ）に記入し、パラシュートに添付します。

- 1 3. SQUARE のインナーコンテナにはセンターとサイドの計2箇所にパラシュートハンドル取付用タブがあります。使用するハーネスの取扱説明書に従って装填、確認を行って下さい。

## 保守整備

- ・緊急パラシュートの保管にあたって、酸、グリース、オイル、塗料などの近くに置かないでください。安全に運用するためには、緊急パラシュートシステムは適切な保守と整備が必要です。
- ・極端な温度や湿度にさらされることのないように保管してください。(30℃以上や湿度 55～65%)
- ・濡れたり湿り気を帯びたキャノピーは、リパックが必要です。
- ・紫外線にさらされるとキャノピー生地が劣化します。
- ・緊急パラシュートやコンテナの洗浄には、清潔な真水だけを使用してください。洗剤は使用しないでください。
- ・濡れた生地を高温状態で放置すると、強度が大きく損なわれる変形が生じます。もしそのような状態にさらされた場合、メーカーのチェックを受けてください。
- ・洗浄した緊急パラシュートを完全に乾燥させるには数日かかることがあり、特にラインの乾燥にはキャノピー生地よりも時間がかかります。
- ・完全に乾燥していない緊急パラシュートをパッキングしてハーネスに装填しないでください。カビが生えて緊急パラシュートやハーネスを傷める恐れがあります。

各部の名称



## **重要なチェック項目**

定期的に： 緊急パラシュートとハーネスの接続・パラシュートハンドルのコンテナへの取付  
リパック毎： 作業で使った細ヒモをちゃんと取り除いたか  
ハーネスかパラシュートを変えたとき： ハーネスとパラシュートの適合性のチェック  
離陸前に： パラシュートコンテナが開きかけていないか！

この取扱説明書に記載の内容には万全の正確を期していますが、記載内容はあくまで参考である事を御理解ください。

この取扱説明書は予告なく変更されるものです。最新の情報は、  
イカロ社のホームページ <http://icaro-paragliders.com/en/>  
あるいは、  
(株)スポーツオーパカイトのホームページ <http://www.opa.co.jp>  
でチェックしてください。

Latest update: July 2016